

交野市議会議員 くぼた 哲^{さとし}

かがやく交野市議会ニュース

No.11

発行人：久保田哲 交野市星田1丁目23-9 電話：072-894-0789 発行日：平成30年秋号

被災された方々にお見舞い申し上げます。

交野市議会議員のくぼた哲です。日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。
 去る9月4日、台風21号が近畿地方を直撃し、大変な強風に襲われました。交野市においても、屋根や瓦の飛散、壁の剥がれ、停電、信号機の変形、ビニールハウスの崩壊等、大変大きな被害をもたらしました。6月の大阪北部地震に続く被害であり、現状においても、屋根の修繕等思うように進まない状況であります。また、行政機関にも被害が及び、学校をはじめとする多くの行政機関でも被害が発生し、現在、補正予算を組み、復旧作業にあたっているところです。市民の皆さんにも多大なご迷惑をおかけしている状況であります。

「災害に強いまちづくり」を、さらに強めていくと同時に



交野市内の倒木の様子

に、皆さんお一人お一人が安心できる生活を一日も早く実現できるよう、行政と協働し、頑張っています。

交野市議会議員

くぼた 哲^{さとし}

プロフィール

昭和50年1月：西宮市生まれ
 平成10年3月：近畿大学法学部 卒業
 平成12年8月：平野博文 衆議院議員 秘書(10年6ヵ月)
 平成23年9月：交野市議会議員に初当選
 平成27年9月：交野市議会議員2期目当選
 平成30年10月：総務文教常任委員会(委員)

決算について

一般会計決算認定を総務文教常任委員会で審議中です。(※12月議会で認定予定)

地方公共団体において、市の財政状況の実績値を把握することは非常に大切です。当初予算が適正に執行されたのか、またその見通しは正しかったのか等を質すことです。

行政執行機関の信頼と実績を質す機会として、予算と決算は連動して議論されます。

▶▶▶ 決算状況

当初予算に対して、市税においては、法人市民税で2761万円の増があったものの、固定資産税1229万円、たばこ税で2043万円の減少となり、地方交付税は、社会保障費の増により、3287万円の増、国庫支出金も福祉関係の増で3287万円の増、財産収入は2億4304万円の増となりました。また歳出では、臨時福祉給付金に係る事業費の減で6400万円の減はあ

たものの、民生費などの介護・福祉関係で1億7600万円の増、衛生費においても、新ごみ処理施設への負担金の関係で3億2500万円の増となりました。また、教育費においても各小中学校の屋上防水工事、トイレの洋式化工事で2800万円増となりました。

歳入歳出差引額は、3億2701万4千円の黒字となりました。



トイレの洋式化工事



総務文教常任委員会

▶▶▶ 特別会計について

交野市は5つの特別会計をもっています。(※端数四捨五入しています)

(単位：円)

	歳入	歳出	一般会計からの繰り入れ
国民健康保険	99億709万6千	94億2900万	6億8058万2千
後期高齢者医療	12億2915万2千	11億8809万3千	1億7567万2千
介護保険	56億8043万7千	54億4727万2千	7億7959万2千
下水道	16億4760万4千	15億5153万6千	1億5940万
公共用地先行取得	5億2482万8千	5億2482万8千	2億9010万4千

▶▶▶ それぞれの決算状況について

5つの特別会計は、おおむね黒字会計となっています。それぞれの「制度」の趣旨において、一般会

計からの繰り入れを行っています。しかしながら、今後、一般会計の繰り入れ額が多くなると、その分の一般会計における事業の幅が、狭くなるのは当然です。

▶▶▶ 総括

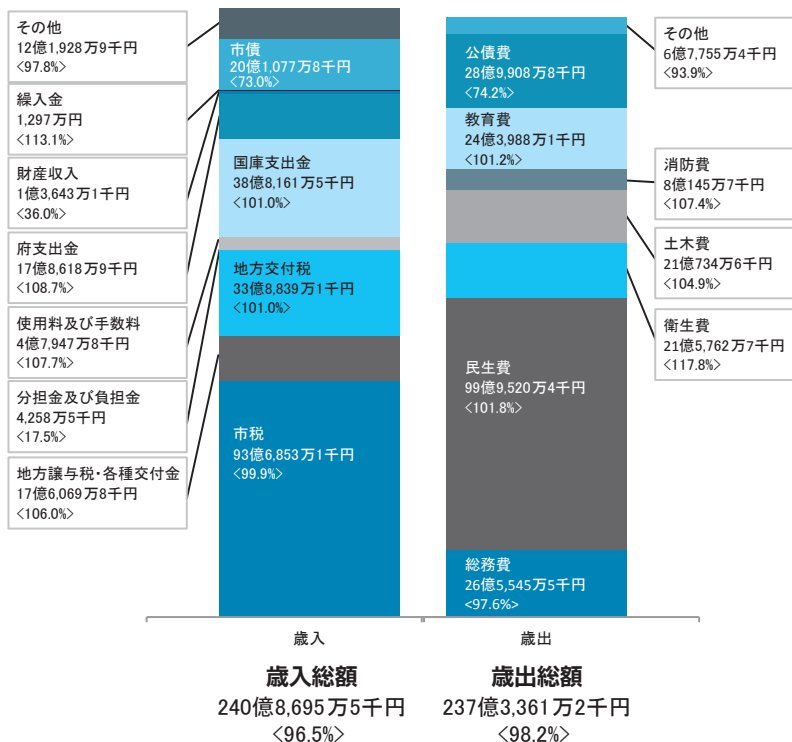
今後、新ごみ処理施設の負担金や介護保険や後期高齢医療への特別会計への繰り入れに代表されるように扶助費の負担が、今後増大してくることは予想されます。

これまで同様、土地開発公社の借金を着実に減らしていくこと、公共施設の老朽化の課題等、財政需要は見込まれる状況です。

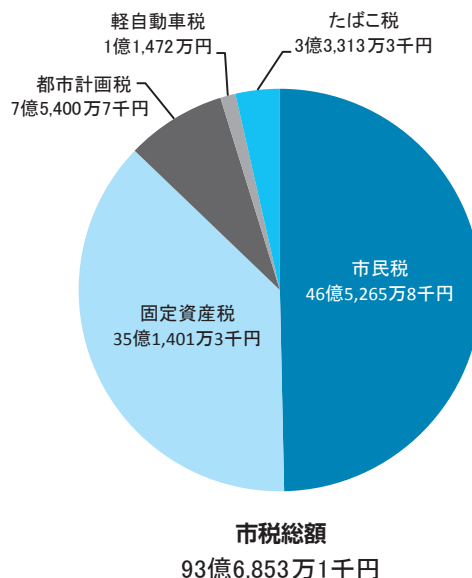
平成29年度決算

一般会計内訳

< >内は前年度比



市税の内訳



くばた哲の主張



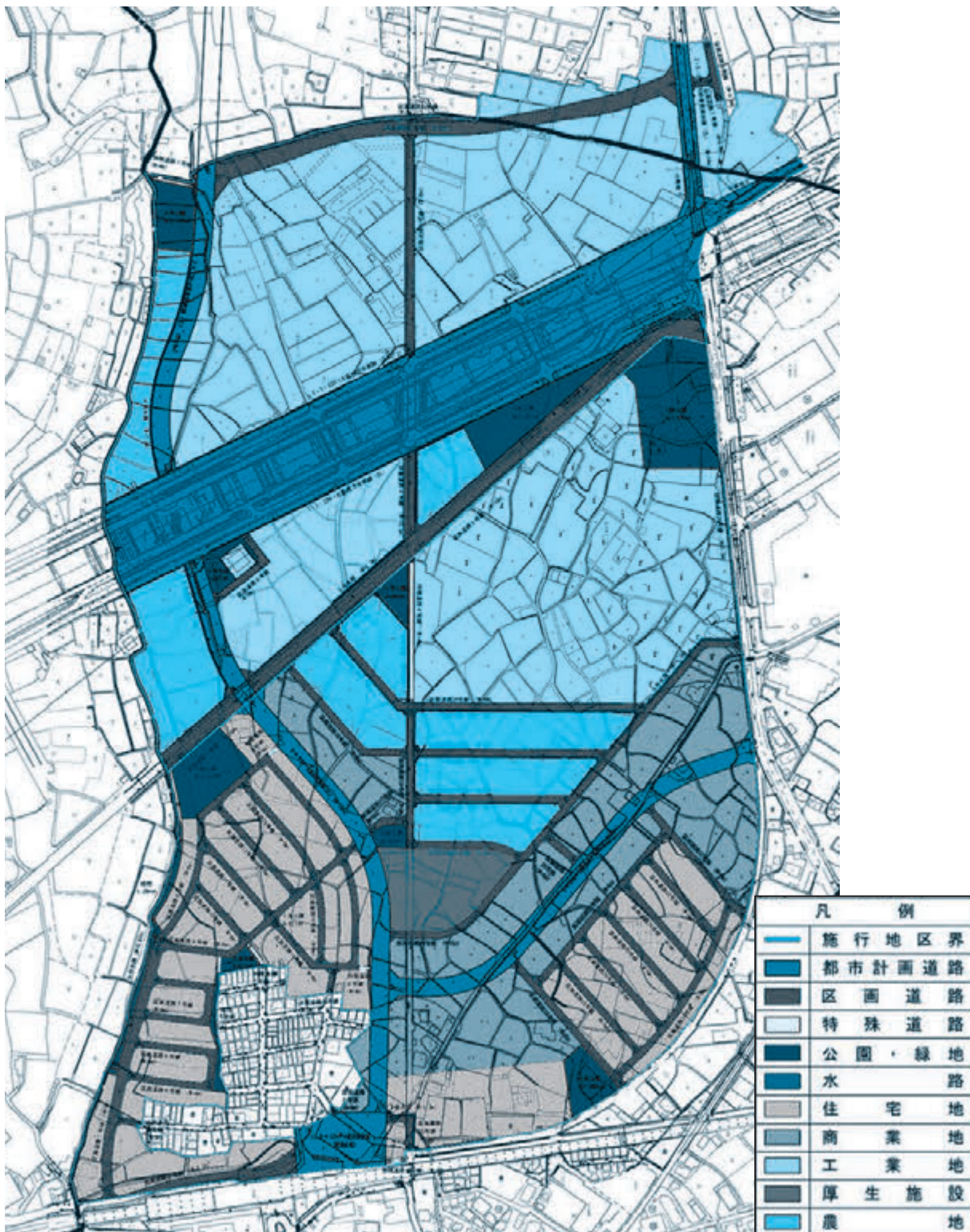
人口減少社会、超高齢化社会の到来で、地方公共団体の運営は、新たな時代に来ています。従前の市民サービスを守っていくためには、新たな財源を確保していく必要があります。法令に則り、無駄を排し行政の効率化を図っていくのは引き続き必要ではありますが、その無駄や効率化だけでは、今後の行政運営、市民サービスを維持していくことは、困難なのは明白です。

新たな財源確保策を星田北の開発をはじめ、着実に事業を推進し、大きな財源確保を図りながら、社会情勢の変化を見極め、安定した財政運営を図っていくことが求められています。

星田北エリアのまちづくりについて

JR星田駅の北側に農地が広がる星田北エリアは、第二京阪道路沿道が平成22年3月に開通することや、快速停車駅でもJR星田駅に隣接する交通利便性が格段に高まりました。

一方で、営農者の高齢化や後継者不足などもあり、今でも見受けられる廃棄物や資材の置場など望まれない乱開発が危惧されることから、将来にわたって魅力あるまちを残していこうとの機運が高まりました。



(現時点での2地区の土地利用計画案) (交野市より資料提供)

そこで、地権者の皆さんが交野市などの支援を受けて主体的にまちづくりに取り組まれ、現在、2つの地区として、星田北地区では平成30年7月31日に、星田駅北地区では9月13日にそれぞれ大阪府の認可を受けて、「土地区画整理組合」の設立総会を開催され、土地区画整理事業に着手されようとしています。

この土地区画整理事業とは、地権者が土地の一部を手放し（減歩）、これを集約して企業などに売却することで事業費を生みだし、地権者の土地は減るものの、インフラが整備されきれいな形状の土地として活用できることから土地の価値が向上するという事業です。この事業では高規格な都市計画道路や公園、雨水調整池なども整備されることから、国や大阪府、交野市からの補助金も投入されて、より良いまちづくりが行われます。

この土地区画整理事業は、星田駅北地区では、居住空間や商業施設、店舗、事務所、医療施設などJR星田駅前にふさわしいまちづくりが、星田北地

区では、第二京阪道路の整備効果を活かすべく、産業立地が可能なまちづくりが計画されており、これらが可能となるよう、大阪府による市街化区域への編

入や、交野市などによる用途地域などの都市計画ルールが定められました。今後は、星田北地区では平成33年度末、星田駅北地区では平成34年度末のまちびらきを目指して、造成工事が道路整備が行われ、造成工事が終われば地権者に土地が返されて土地活用が行われます。

また、2地区の中に整備される都市計画道路星田駅前線が、枚方市域にある府道18号（ジョーシンのある点滅信号あたり）まで接続されるよう、2地区の土地区画整理事業と歩調を合わせて、交野市において、道路整備が行われます。



星田駅北土地区画整理組合の設立総会の様子（同組合より写真提供）

くぼた哲の主張



- ①社会情勢の変動：人口減少・超高齢化社会到来・社会保障費の増大
- ②地権者を取り巻く環境の変化：後継者不足による営農環境の変化
- ③「まちづくり」への動き：JR星田駅近くで、第二京阪道路供用開始による新たな「まちづくり」への期待。乱開発への未然防止

星田北の開発には、上記の記載のとおり、社会情勢の変動を受け、星田北地区におけるポテンシャルを一層高めていくことが、地権者の皆さんをはじめ、交野市にとっても大きな意味があります。このままでは、後継者不足に悩む営農環境の変化は深刻であり、それに漬け込む乱開発の業者がはびこり、星田北地区の開発が虫喰いの状態にさらされるのは自明の理でありました。

地権者の皆さんの大きな決断を、交野市としても大きな機会と捉えて、この区画整理事業が、わたしたちにとって大きな利益をもたらす事業になるように、しっかりと支援していきたいと考えています。

ご意見・ご要望や市政相談は
お気軽に くぼた 哲^{さとし} までお寄せください。

自宅

〒576-0016 交野市星田1丁目23-9

電話&FAX (072)894-0789

ホームページ

くぼた 哲 検索

メールアドレス

s-kubota@s-kubota.jp

